

2018年度 4月 理事会議事録案

1 日時：2018年4月19（木）19：00~20：45

2 場所：神奈川県作業療法士会 事務所

3 理事会定数

出席理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・奥原・神保・玖島・遠藤・野本
名古屋・村越・作田・澤口・佐藤・大郷 17名

欠席理事：なし

出席監事：田中・糊沢 2名

その他：明立・平山（共に事務局 書記）

4 議長団選出

議長：錠内会長

副議長：金山事務局長

議事録署名人：佐藤理事・田中監事

5 配布資料

- (1) 資料1 2018年4月19日理事会 各部・委員会提出資料
- (2) 資料2 神奈川県作業療法士会「ブロック化」構想案について
- (3) 資料3 事務局別紙資料
 - 1) 新入会員登録未完了に関する資料（OT協会より）
 - 2) 理学療法士・作業療法士の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査概要（仮）について（OT協会より）
 - 3) 青海社セミナーの案内
- (4) 資料4
 - 1) 財務 期末監査報告
 - 2) 財務 2017年度予算執行結果
 - 3) ウェブ管理委員会 更新件数・アクセス件数
 - 4) 認知症対策委員会 ボランティア保険加入について
- (5) 当日配布
 - 1) 三役 中長期計画案
 - 2) 事務局 従業規則作成費
 - 3) 事務局 2018年度神奈川県作業療法士会予定
 - 4) 財務 平成30年度予算（案）
 - 5) 財務 勘定式決算報告書

6 回覧資料

- (1) 湘南リハケア 2017 報告書
- (2) リハビリフェスタ 2018 報告書
- (3) (一社) 神奈川県臨床工学技士会会誌 Vol29
- (4) OT 協会 作業療法士による国際協力のあゆみ
- (5) 災害時リハ支援対応に向けた行政理学療法士・作業療法士の課題と役割
- (6) 岩手県士会 東日本大震災支援活動報告書

7 審議事項

- (1) 重点課題の要旨
 - 1) 三役「中長期計画について」

2019 度～2022 年度の中長期計画の案を提案。6 月の理事会までに検討した案を提案する。
 - 2) 三役「2018 年度理事会の流れ」

流れを提案した。
 - 3) 事務局「ブロック化について」

ブロック化についての経緯を説明。ワーキングメンバーで作成した案をもとに意見交換を行った。
 - 4) 財務「2017 年度期末監査について」

監事と財務理事より報告、今後の注意点について報告あり。
 - 5) 財務「2018 年度予算について」

収入見込みについて説明した。
 - 6) 規約委員会「個人情報に関する定款変更について」

規約の変更だけでなく定款も理事会承認に変更する。
 - 7) 認知症対策委員会「ボランティア保険の加入について」

情報を集めて再提案。継続審議。
 - 8) 会長「役割変更について」

野々垣副会長と村越理事の役割について変更した。
- (2) 審議項目の要旨
 - 1) 事務局「神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員について」

川口 敬之氏（北里大学）継続 ⇒承認
 - 2) 事務局「事務局専従の就業規則作成について」

就業規則を作成し、整備していく。
 - 3) 事務局「後援依頼について」

ヨコハマ・ニューマンテクノランド 2018 ⇒承認
 - 4) 学術部「研修会費の設定について」

研修会を開催している部署・委員会で集まり検討する。

5) 学術部「部員の承認」

鈴木恵梨香氏（北里大学東病院）⇒承認

8 審議内容（詳細）

(1) 三役

1) 重点課題

①中長期計画について

(ア) 木村副会長より概要説明

- ・2017～2018年度のあらたな中期目標について過去2年を振り返って提案しなければならなかったが、実施できなかった。
- ・2019年度～2022年度の中長期計画を検討するにあたり案を提案。
- ・現在も万遍なく目標達成にむけて事業が行われているので大きく方向性を変えていない。
- ・長期目標案は作業療法士協会の重点項目を参考に作成した。

(イ) 意見交換

- ・ブロック化や公益法人については長期目標「公益事業への積極的な参画」にあてはまる（会長）。
- ・2018年度の重点項目は何か（大郷）。
→今年度も本来であれば重点項目について検討する必要があった。今年度は事務局機能と財務機能について考えている（木村）。
- ・目標の文言概念がバラバラなので見直してほしい（佐藤）。
- ・県民に対して益を出すような文章にしてほしい（澤口）。
- ・現在の中長期目標と事業数との関係を示した資料が全部網羅されていないよう。もし資料が不足しているようなら項目をゼロにするなど、不足していることがわかるように提示してほしい（田中）。

⇒6月の理事会までに検討した案を提案する。

②2018年度理事会流れについて

- ・6月：2019年度からの中長期計画における重点課題の検討
- ・8月：事業の優先順位の検討
- ・10～2月：事業検討・予算検討
- ・4月：1年間の振り返り

⇒この流れで行えるよう準備していく。

2) 審議項目・報告 なし

(2) 事務局

1) 重点課題

①ブロック化について

(ア) 澤口理事より概要報告

- ・2018年（ブロック化準備年）から2020年度（ブロック化実行定着化）を目指していききたい。
- ・ブロック化の目的：「組織力の向上」および「地域社会との関係性向上」。
- ・ブロック化の目標：6つを提案。①行政の窓口を確保②県民への作業療法の啓発③県士会公益事業の協力体制④人材の発掘および育成⑤会員ネットワークの構築⑥参加しやすい県士会づくり。⑤に関しては横のつながり、特に分野を超えたネットワークづくりを目指したい。
- ・会員に対して広報していないので、会員にブロック化について伝えていく。
- ・今後のスケジュール：5月の総会でブロック化構想について報告・審議。
- ・予算：会議を計14回実施予定。中心メンバーによる会議10回、理事・監事全員参加での会議4回で想定し、財務理事にも相談済。
- ・ブロック長や担当委員について：未定な部分が多い。ただ、ブロック長（エリア会議）は年1-2回程度行っていききたい。
- ・今年度の活動について：事務局内で行う。今後は調整する係りとして「ブロック化本部」を組織内に検討したい。

(イ) 神保理事より補足

- ・前回の理事会でブロック化を行う方向を確認したと認識している。
- ・オリジナリティのある今後10年を形作るブロック化情報ネットワークシステム構築が重要。
- ・2018年度の7月に次年度の事業計画を作成するためにここで事業方向を検討していきたい。

(ウ) 会長から

- ・前回理事会から短い期間での作成、感謝します。ブロック化は進めていく。今年度の会議を通じて検討していく。

(エ) 質疑応答

- ・ブロック長の役割や何をするのかを明確にならないと会員はわかりづらい。例えば現場にいるブロック長が事務的な仕事までするのは難しいのでは。具体的にブロック化するとどうなるのかが見えにくい（奥原）。
→小さな県士会というイメージで機能を持たせたいが、まだ各論にまでいたっていないので今後検討していきたい。
- ・ブロック化のわけ方について。人材が少ないところの負担が多くなるのでは（榭澤）。
→エリアの分け方なのか、相互にカバーしあうのかは検討。孤立するのは避けたい。
- ・ヴィジョンを見せながら広報活動とからめて行わないと行政の事務方や会員がわか

らないのでは（棚澤）。

- ・所属先によっては職場外活動に消極的なところもあるので、ここも検討されないと個人のやりたい気持ちと現実で引き裂かれてしまうのでは（佐藤）。

⇒今後の会議で審議を深めていく。

2) 審議項目 7 審議事項「審議項目の要旨」参照

3) 報告

①OT 協会

(ア) 新入会員の登録未完了 73%

(イ) 大分県士会より まんが作業療法物語 購入希望について 10 部以上で購入可

②医療職連合会

(ア) 20 周年誌 理事会にて配布

③その他の関係団体

(ア) 横浜市大リハ科 50 周年記念祝賀会 5 月 12 日 19:00～ロイヤルパークにて開催。
渡邊顧問参加。

(イ) 養成校から祝電のお礼 国際福祉大学、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校より

(ウ) 神奈川県介護支援員専門協会 退会手続き終了

(エ) レッツリモコン経過について

3 月末に届いた。4-5 月の貸出。「ご利用者さんからの評判」「導入の可否」「効果について」事務局とりまとめで意見をまとめる。

(オ) 後援報告 「湘南リハケア 2017」「リハビリフェスタ」無事終了。

(カ) 平成 30 年度第 9 回地域リーダー会議 遠藤理事・佐藤委員参加予定。

(3) 財務

1) 重点課題

①期末監査（資料 4 財務 1、勘定式決算報告書）

(ア) 監事より

- ・中間監査を行っているの上半期、下半期に行ってほしい。
- ・書類の不備が多かった。特に活動報告の提出についての不備が多かった。運用の証拠になるので提出してほしい。

(イ) 財務理事より

- ・上半期の項目を下半期で処理している。
- ・議事録がない。議事録の日付がまちがっている。事業活動報告書がない。
- ・入力金額の相違がある。・領収書の宛名もれ。
→会計処理を毎月しているが、領収書がないため帳簿上の確認しかできない。それぞれの部が責任をもって行ってほしい。
- ・入金総額相違。領収書の複製。二重払い。

→現在のマニュアルではそれぞれの班で行う必要があるため相談してほしい。内部請求書・内部で使える領収書の作成も検討。

②2018年度予算

- ・2,173,015円が次期繰り越し金となる。

→2017年度の執行率をみると事務局が半分を占めている。

部署によっては会議数を減らすなど工夫がなされており、感謝している。

県士会の活動が下半期にまとまっているため、可能であれば上半期に事務用品など購入してもらうことで財務処理が可能になるのでは。

- ・会費収入賛助会員会費とあわせて計16,094,000円。

→2017年度は231名が入会したが、予測ベースで180名で検討した。

- ・運営準備金取り崩し 4,355,700円
- ・予備費 1,000,000円（他団体会費＋補正予算分）

2) 審議項目 なし

3) 報告

①交通費について

- ・両替手数料が有料であり、1回540円かかるため、両替4回/年で検討したい。今後はサインの回と交通費支給の回がある。出席が大切になるのでサインを必ずお願いしたい。不定期なものは毎回支払う形にしていく。

(4) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 7審議事項「審議項目の要旨」参照

3) 報告

①2018年度の研修会について

- ・身体障害系企画3回（1つは研究）、精神障害系企画3回（1つは認知症）、臨床実習指導者研修1回、トピクス研修1回の計8回の研修会を企画・開催する予定。
- ・トピクス研修「作業療法の専門性（仮）」講師：友利幸之助氏（東京工科大学）
2018年6月17日（日）9:45～12:15 場所：イムス横浜国際看護専門学校

②学術誌刊行事業

- ・『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2018 Vol.8』の刊行を行なった。
- ・新編集長を中心に編集体制を強化し、会員の投稿数を増やす努力をしていく。
- ・査読委員の選定や増員、論文支援事業の充実、投稿数をアウトカムとして評価する。
- ・投稿先のメールが変更。

③研究助成事業

- ・会員間での知見の共有、活動の広報を目的とし、2課題を推薦予定。

- ・①若手会員向け（7年目）、②一般会員向け（3法人⇒2法人に変更）とし、若手会員にも積極的に使用していただきたい。
- ・当助成事業を受けたものは当学術誌の論文投稿に限定する。
- ・過去に助成を受けた会員に積極的に当雑誌への投稿の呼びかけを行なっていく。
- ・4月中にHP、5月のニュースで会員に報告する。
- ・今年度の臨床大会にて助成班による研究デザインの相談ブースを設置する予定。

（5）広報部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①ニュース

- ・今年度も年6回発行を実施。
→会員増加あるも印刷費節約や外部臨時収入（わずかだが）などで費用も横ばいからやや右肩上がり程度で実施できている。30年度も同様に実施してゆく予定。
- ・6月発行号では新入会員向けの案内も掲載予定。

②対外広報

（ア）相模原地区「さくらまつりブース出展」2018年4月7日8日

自助具展示・自助具作成体験・介護相談・アンケート実施・パンフレット配布

（イ）県央地区「(イベント名未聴取)海老名市駅前にて市民向けイベントにブース出展」

2018年5月 介護相談・パンフレット配布・アンケート実施

（6）福利部

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①JAOT 特別表彰受賞決定について

当士会推薦の杉本由美子先生の特別表彰受賞が決定。当総会でも受賞式を行う予定。

②神奈川県士会功労表彰及び特別功労表彰について

受賞決定者に通知を行っていく。

③学術部合同新入会員オリエンテーションについて

2018年6月17日(日) 場所が変更し、IMS 横浜看護専門学校(長津田)で開催予定。

当日手伝える理事を募集。当日の交通費は福利部が負担する。

今度の研修会の告知が遅れている。6月号のニュースだと直前なので昨年実績のある施設等に先行して郵送する。郵送費20000円を事務局に計上した。

④求人・求職の登録および情報提供 2018年2月17日～2018年3月31日

新規掲載 28・変更 4・削除 10・問い合わせ 0 それぞれ対応済。

(7) 規約委員会

1) 重点課題

①個人情報について

・定款一部修正について「第 10 章 情報公開及び個人情報の保護」第 71 条 2 項の修正
2 個人情報の保護に関する必要な事項は、総会の議決を経て別に定める個人情報保護規程による。

→2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める個人情報保護規程による。

・1月の理事会で「個人情報規程」の一部変更（変更および廃止について）を提案し、承認をえて、規約と定款の整合性をつける為変更をお願いしたい先の理事会で規約の変更を理事会としたが定款には総会と定義しているので変更したい。⇒承認

2) 審議事項 なし

3) 報告 なし

(8) ウェブサイト

1) 重点課題 なし

2) 審議項目 なし

3) 報告

①県士会サイト・レスポンスウェブデザインの導入について

・PC・タブレット・スマホのいずれの環境でも閲覧しやすいウェブデザインへ変更した。
一部環境（OS+ブラウザ）で意図する表示となっていない場合がある可能性あり。画像と異なる表示となっている場合は閲覧環境（OS+ブラウザ）を報告する。

②県士会コンテンツ・ブログの投稿者管理について

(ア) 対策

- ・コンテンツ・ブログへ投稿するためのログインパスワードを強化する。
- ・不正アクセスは調査中。
- ・強固なパスワードを使用することで、不正ログインを防ぐ可能性が高くなる。
- ・投稿者全員が使用しているパスワードを 11 桁以上の強固なパスワードへ変更を行う。

(イ) 県士会コンテンツ・ブログの投稿者の追加・削除について

- ・なりすまし防止のため、新たに登録者がいる場合は、各部署の責任者から連絡する。
- ・削除者がいる場合も責任者から連絡する。

③各部・各委員会ページの更新について

・構成員に変動（新規承認・退任）がある場合は、その都度ウェブ管へ連絡する。

(9) 学会評議委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①第3回神奈川県臨床作業療法大会 2018年7月29日(土) はまぎんホールヴィアマール

- ・10:00~12:30 一般公開シンポジウム ~気になる子どもたちへの支援の工夫~
- ・全体のプログラム、演題採択(20演題程度募集あり。時間的に13演題にしぼった)された。
- ・広報ちらし会員へ送付された。
- ・会員のいる施設へポスター配布される予定。
- ・学会当日、参加者(会員)にアンケート調査行う方向でアンケート用紙作成中。

(ア) 演題採択について

- ・不採択の通知に理由がなく、ショックを受けていた。今まで理事会で説明があったのか。
→今後は何演題かなど事前に提示したい。今回のスケジュールでは変更が難しく、会場の関係でポスター発表も困難であった。
- ・査読結果はみなでシェアしているので質問があれば大会事務局へ連絡がほしい。
- ・教育的な視点で理由を説明してほしい。
- ・昨年の県学会では理由を説明した。
- ・倫理的なひっかかるもの以外は若い人がスキルアップする場で採択していく方針。課題がどこにあったのか明確に伝えていく。
- ・前回の臨床大会では直前まで2-3題しかなかったが最終的に25演題になったが全体を発表する内容とした。
⇒今後の運営に反映させていく。

②第17回神奈川県作業療法学会

- ・会場検討中
- ・ホテルなどの利用も検討に入れたが施設利用料の面から公的施設、学校施設の活用依頼中。
- ・大会長打診中。快諾はしていただいたが神奈川県士会員の手続き等依頼中。

③演題査読委員の学会評議員部員の任命について

- ・身体障害分野4名、精神障害分野1名、発達障害分野1名、老年期障害分野1名、地域リハビリ分野1名の8名を確保し任命していく方向。
- ・身体障害分野2名内諾。それぞれの分野の方々へ打診中。2018年度になってから確認部員承認していく。

(10) 公益法人化対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議項目 なし
- 3) 報告

①公益化に向けた検討課題について

(ア) 組織図の再編

- ・公益事業を担う部署を新たに作る、もしくは現状の各部・委員会において公益事業も合わせて（当面）執行するか精査中。
- ・新体制による事業計画の立案は、翌平成 31 年度からを目指したい。

(イ) 企画調整委員会（仮称）創設について

- ・各部・委員会が公益事業を担う場合、各企画それぞれが連動して持続的にかつ県士会全体を縦横しているものでなければならない。
- ・一部署において「企画」をマネジメントすることで全体も調整できるのではないか。
- ・現状は三役が企画調整委員会の機能を持っているが、決済する部署であり、事業を執行する部署ではないので、「企画調整委員会（仮称）」に議事を提出し、理事会全体で議論し、決済し、執行して行く方が調整できるのではないか。

(ウ) 外部の方の県士会へ参画について

- ・「外部」の方に県士会の事業計画を立案検討する段階から参加してもらい、外部の方の目を通して「これは公益の事業だ」と判断を受けるくらいのものを検討する。
- ・課題は人選、報酬、身分などである。

⇒次回理事会で検討。

(11) 認知症対策委員会

- 1) 重点課題

①ボランティア保険の加入について

(ア) 経緯

- ・認知症対策委員会が認知症と家族の会に関わりをもちたいと考えていた時期に、先方も当会と関わりをもちたいと考えていた。
- ・1月と3月の2回参加したところ、移動時の問題、買い物中に商品を食べてしまう、買物中に行方不明になってしまうなど活動に不安を覚えた。
- ・社協に登録している事業所であれば 510 円/年で対人賠償 1000 万。OT 協会は 200 万では少ないのでは。
- ・認知症対策委員会として社協に登録したい。

(イ) 公文書について 県士会からの公文書は必要。

⇒情報を集め、再提案。継続審議とする。

(12) その他

1) 渉外報告

①介護予防のための地域ケア個別会議（吉本理事）

②医療職連合会定例会議（金山）

(13) 理事の役割変更について

会長より今年度より学会評議委員会を野々垣副会長が引き継ぎ、村越理事は事務局強化のために事務局担当となり、事務局は2人の理事を立てることとする。⇒承認

9次回理事会日時・場所

(1) 三役会開催日 2018年6月6日（水）19:00～

(2) 理事会開催日 2018年6月21日（木）19:00～

(3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務

以上、文責（平山・明立・金山）

議事録署名人

議長： 錠内 広之 印

理事： 佐藤 良枝 印

監事： 糊澤 直美 印